

令和8年度、給食費が変わります

保護者負担額は変わりません



9年ぶり!!
給食費を見直します。

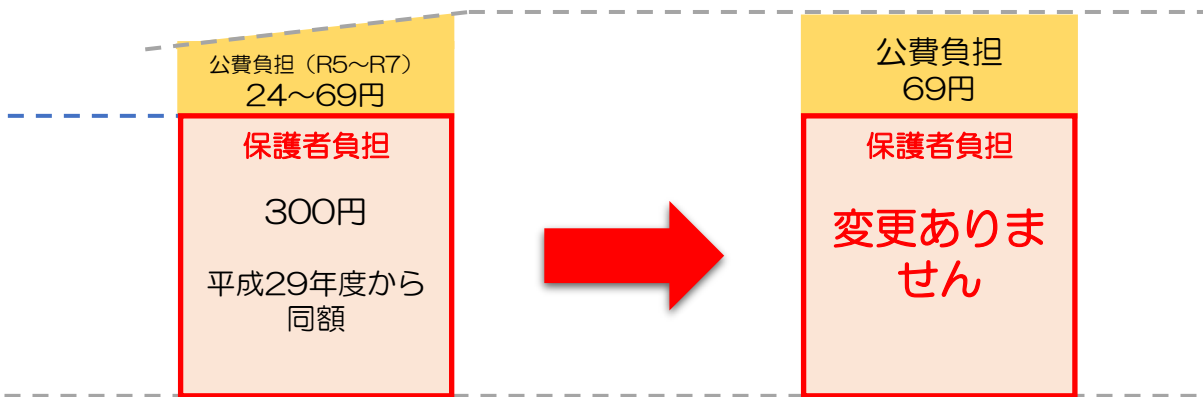
令和8年度は、
支払額は増えません。

【これまでの給食費】

区分	給食費	保護者負担
中学校	300円	300円

【令和8年度の給食費】

給食費	保護者負担	公費負担
369円	300円	69円



- 保護者負担**：お支払いいただく費用
- 公費負担**：物価高対策として市が負担する費用

- 給食費（保護者負担）は食材費のみに充てられます。
- 令和5年度以降は、急激な物価高騰を受け、保護者負担を増やさないよう食材費の一部を公費で補うことで、給食の質を維持してきました。
- 令和8年度も市費で一部無償化することで、保護者負担は変わりません。

四日市市の給食

- ① 安全・安心でからだに美味しい給食を提供します。
- ② 市内産、県内産の食材をできる限り使用します。
- ③ 地域の食文化や食について学ぶことができる給食を提供します。



三重豚丼、豆腐の田楽みそ、白菜炊き、牛乳



バターチキンカレー、インド風サラダ、ナン、米飯(減量)、牛乳



そうめん、ガヨーザ、まこもたけのきんぴら、すまし汁、四日市お茶ごはん、牛乳



Q. 中学校の給食費は無償にならないのですか？

A. 国は令和8年4月から小学校の給食費を無償化し、その後、中学校についてもできる限り速やかに無償化する方針を示しています。

本市は、令和8年度については、保護者負担を増やすことなく一部無償化します。

Q. 一部無償化は今後も続きますか？

A. 令和9年度以降は未定です。詳細が決まり次第、追ってお知らせさせていただきます。

Q. なぜ、保護者負担が変わらないのに給食費を改定する必要があるのですか？

A. 給食に必要な食材費は給食費として保護者から徴収しています。

一方で、急激な物価上昇が続く中、保護者負担が増えないように、令和5年度から食材費の不足分を市が負担してきました。

しかし、令和7年度時点で不足分は月額1,100円程度に上り、実態にそぐわないため、給食費を改定することとなりました。